

第30回土岐市子ども・子育て会議 会議録

■会議の日時:令和7年2月6日 14時から15時37分

■場所:土岐市役所 2階大会議室2A

■出席者:土岐市子ども・子育て会議委員

山田 利彦、穴戸 乃梨子、加藤 香奈、福富 泰岳、加藤 隆浩、小栗 潔子、鷺見 政人
後藤 淳、加藤 千草、中島 冴加、古林 真紀子

欠席者:戸松 陽子、松崎 多恵子

1. 健康福祉部長あいさつ

事務局 それでは、まだお揃いでない方もお見えですが、定刻となりましたので始めさせていただきます。それでは、改めまして皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、第30回土岐市こども子育て会議にご出席いただきありがとうございます。本日の会議の進行を務めさせていただきますこども家庭課の鈴木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。会議に入ります前に、資料のご確認をお願いいたします。委員の皆様には事前にA4 1枚で第30回土岐市こども子育て会議とした次第でございます。次に、右上に資料1といたしました「土岐市こども計画（案）のパブリックコメントについて」という2枚のホッチキス止め、冊子ですけども資料2と右上に書いてございます「こども計画 令和7年度から令和11年度」の冊子が1冊、あとですね、A3、2つ折りの資料3-1としました「こども計画の概要版」、同様にA3、2つ折りの資料3-2といたしました「こども計画の概要版のこども版」をお配りしております。また、本日、追加の資料といたしまして、先ほどお話ししました資料3-1と3-2の概要版のデザイン版、イラスト等を入れたカラー刷りの資料ですけども、机の上にお配りいたしております。資料は以上となりますが、皆様よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。初めに、健康福祉部長熊崎より皆様へご挨拶申し上げます。

健康福祉部長 皆様、こんにちは。

一同 こんにちは。

健康福祉部長 本日は委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の子育て支援施策について多大なるご理解とご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。さて、昨日からの新聞等の報道で、皆様すでにご承知のこととは存じますが、市内で路上生活をしていた方の社会死に関しまして、市及び土岐市消防の救急対応について、市民の皆様に対し大変なご心配をかけてしてしまったこと、深くお詫びを申し上げます。市としましては、引き続き市民の安全・安心を守り、信頼を損なわないように努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、先日の日曜日に市制70周年の記念式典を開催いたしました。多くの市民の方にご参加をいただいたところでございます。これまでの70年を担ってきた先人に対して感謝する機会、今後の土岐市を担う世代が活躍できる機会、これから先、土岐市がどのように進んでいくのかを考える機会として、今後1年間、「つなぐ」をキーワードにして様々な70周年の記念事業を展開してまいります。市民の皆様と一緒に土岐市を盛り上げて、次の世代につなげてまいりたいと考えております。皆様におかれましては、どうぞご理解とご協力を

賜りますとともに、開催されるイベント・事業にぜひご参加いただければと思う次第でございます。それでは、本日の会議でございますが、前回お示ししました土岐市子ども計画の素案から、その後の修正等を加えた最終案の確認をおこなっていただきたいと思っております。これまで、様々なご意見をいただきまして、ご議論いただいた成果になります。様々な視点でご意見をいただければと思っております。また、計画の本編に加え、概要版も皆様のお手元にお届けしておりますが、こちらについてもご覧いただきたいと考えております。子育て支援の充実に向け、一層のお力添えをいただきますことをお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

事務局 ありがとうございます。続きまして、本会議を代表いたしまして山田利彦会長、ご挨拶をお願いいたします。

山田会長 皆さんこんにちは。今日はこの機会を設定していただきありがとうございました。そして、たくさんの資料の準備、色々ありがとうございました。今朝の雪を見てちょっとびっくりして分かったことですが、本当に太陽はありがたいなと思うのはこのことです。タダでやってくれるのですね。雪かきなどでどけようと思うと相当な費用等掛かりますが、太陽はありがたいことに一銭もかからずやってくれる。私たち今関わっている子ども子育ても、この太陽のように一銭もかからずとは言いませんが、みなさんに日が当たるように、そういうことができるといいなと思っております。また本日時間が余ればまたそれぞれのお立場からの議題に関係ないことでも結構ですので、感想や皆さんにPRしたいこと、また伝えたいことの交流などをしたいと思えます。心の準備をしておいていただくとありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局 はい。ありがとうございます。それでは、議事の方へ早速入っていきたいと思います。ここから山田会長に進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願いいたします。

3. パブリックコメントの結果について

山田会長 はい。それでは、3番のパブリックコメントの結果について事務局からご説明お願いいたします。

事務局 パブリックコメントの結果について説明

山田会長 ありがとうございます。3件ということで少ないように思いますけども、中身は大変いいことをおっしゃっていただいております。ありがたいと思います。ご意見ご感想、あるいは自分と関わっていることで何かありましたら。どうでしょうか。市で実施した他のパブリックコメントと比べてどうでしょうか。

事務局 正直申し上げますと、他のパブコメでご意見が0件というのは多いです。それと比べ、3件出していただいてありがたいと思っておりますが、先ほど説明させていただきました

たが今回から実施課と協議しまして、パブコメをやっていますという案内を、LINEとtwitter、facebook、メールで、登録している方にお知らせしましたので、それでは多少は周知されたのではないかと。現に、ホームページを通じてご意見をいただいた方もありました。そういったことでの3件ですが、ご意見いただけたのは他と比べて言うのもなんですが、良かったのではないかと感じております。

山田会長 委員の皆さん、どうでしょうか。

委員 パブリックコメントを前回の会議の時に聞いていましたが、私、LINEとかの登録がなかったので、どこでやっているか分からなくて。小学校や幼稚園だったらお母さんたちの目につくのではないかと。そういうのがありますよというチラシとかがもしあったら、意見が集まるのではないかと思います。

山田会長 あと、どうでしょうか。このご意見聞くといつも私は思うのですが、色々な事業を実施するにあたり、やはり人、モノ、金、PRといつも私は思っているところですが、その4つが大事だなと思います。児童館さんも複合化するという市の回答があった通り、私の関わっている泉公民館も建て替え等も話題にしながら、できれば児童館と色々なところと複合したような計画やアイデアが出ますが、やはり人、モノ、金に尽きますが、その辺りお金を出してくれるところに頑張ってもらえるとありがたいなと。これは、この場で言ってもお金を出すところはもっと別なところですよ。何とか伝わっていくといいなと思っております。では、パブリックコメントについてはよかったでしょうか。ありがとうございました。それでは、次第4 土岐市こども計画の最終案について、①の前回会議からの修正、変更事項の報告と、②の土岐市こども計画の概要案について事務局からご説明お願いいたします。

4. 土岐市こども計画の最終案について

事務局 土岐市こども計画の最終案について

①前回会議からの修正・変更事項説明 ②土岐市こども計画の概要版について 説明

山田会長 はい、ありがとうございました。①と②ですが、まず①の修正、変更事項についてですが、ご質問やご意見、大きな変更はないみたいですが、花園の加藤委員どうでしょうか。何か皆さんに報告するようなこととかありましたら。

委員 特にはございません。前回お話ししたところからあまり進んでいません。4月1日からできるように急いでいます。順調かどうかは、間に合わせるように動いています。

山田会長 よろしくをお願いいたします。突然申し訳ございませんでした。よろしいでしょうか。では②の概要版とこども用をご覧いただいてどうでしょうか。ちょっと時間取りたいと思いますので、ゆっくり見てください。そろそろよろしいでしょうか。感想、ご質問、ご意見ありましたら。それぞれ委員の皆さんが関わっている団体所属と関わることもいいです。どうでしょうか。こども版について。

委員 こども達を読んでも土岐市がやっていること、こんなことやってくれているのだというところで、こども版があることはいいなというのが最初の感想です。で、その上で中を見ていった時に、多分こちらの概要版に合わせて作ってみえると思いますが、こどもが見た時に、自分は土岐市に支えられているな、守られているなというよう

なことを感じようとした時に、1番のところで最初に子育てってということがきていますよね。2番目、3番目、4番目はこども自身が直接関わるところの文言になっている。最初の生む、育てるというのはお家の人のことですので、例えばこれ、順番を入れ替えることは難しいでしょうか。やはり、直接こどもに関わることを先に持ってくる方がいいのではないかと思います。

山田会長 どうでしょうか。

事務局 はい、ありがとうございます。そうですね、おっしゃる通り、目から鱗です。委員のおっしゃる通り、1、2、3、4というのは基本目標1、2、3、4の順番に載せたただけですので、確かに1、2、3、4と数字を振らずに並べ替えて、こども達が1番自分達に関係することを表示した方がより入り込みやすいかなと思いました。その辺はスペースの関係もそうですが、なるべくその方向で修正できるように、デザインの修正をしたいと思います。ありがとうございます。

山田会長 後藤委員、いかがでしょうか。

委員 星マークの1、2、3、4もですが、その下にぶら下がっている内容の順番も考えていただければと思います。

事務局 ありがとうございます。

山田会長 今の意見に関わりまして、他の皆さんからも意見ありましたら。私から。こういうこども版を作るというのは大変素晴らしいし、いいことだと思います。普通はこども用というのはないですから。ですから、提示された概要版はこれを基本として、委員のおっしゃるように、こどもが活用しやすい、興味を持つようなということで、これを元にして新しくこども用を作成するのはどうでしょうか。スペースを色々考える必要もないですので、思い切ってできるのではないかと。例えば、りんごにたとえますと、この概要版はりんごそのもの、まんまるですね。で、このりんごを食べやすいように皮を剥ぐ。今度はもっとこどもが関心を持つ、興味を持つ、飛びつくという風になると、皮を剥いたりりんごを元に、細かく切ったり、食べやすくしたり、あるいはジュースとかね、ジャムにしたりという風にすると、こどもが美味しそう、食べやすいかなとなりますよね。これを元にして、例えばこども用に向けて考えますと、クイズ形式にしたり。クイズ形式ですと、今申したことで言うと、土岐市のすがたというスローガンですが、守ろうの次をカッコにして、キーワードを空白にして、「何が入るでしょう」というような穴埋めクイズみたいなものにしてみるとか。あるいは、対話形式で男の子と女の子が会話をして「もしお金がなくなったらどうしたらいいの？」という問いかけについて、「うちは兄弟が多いけど…」というような会話の中から誰かが答えるような形式のように、思い切ってこどもが飛びつきやすいものをつくってみる。これは小中学校の先生で得意な方、社会科の先生や中学校でいうと家庭科。確か中学校の家庭科には、子育てや家庭という単元があったように思いますので、そこで使っていただけるようなものをも工夫して作成できるのではないかと考えてみました。これは担当課だけではできないことだと思いますので、教育委員会、小中学校で、時間はかかると思いますが、授業の中で実際に使えるようなものを学校の先生が動けるといいのではと。その辺、教育委員会さんとか教育研究所の方、小中学校の先生、

多分そういう单元や授業があると思いますので、これを使うと分かりやすいという形で実際に使用できるようになると、こども達にも本当にいいのではないかと思います。概要版はこれで完成させて、少し時間はかかるかもしれませんが、このように考えていただければできそうではないかと。

事務局 はい、ご意見ありがとうございます。今回はこどもに対してこういうものを作りましたという概要版でお作りしましたが、会長おっしゃるように、計画をというか、土岐市がこどもに対してこどもの権利というのを尊重して色々な事業やっているよといった周知というのを、今後この計画の周知とは別にこういったことを保護者やこどもに対してやっているということを知ってもらうことはやはり必要なことになってくると思います。今会長がおっしゃられたような、例えばクイズ形式とか、困った時はこんなふうだよ、みたいな、例えばチラシとかそういったものをホームページに載せたり。そういうのは教育委員会さんとも相談しながらクイズ形式とかで何か作っていただければと。学校の先生に聞くといいアイデアとか教えていただけるのかなと思います。そういった形で、事業、土岐市がこういうことやっているというのは、今回だけに限らず今後もずっとこのこども計画5年間、その先もあると思いますが、そういったことで周知をしていきたいと思いますので、そういった方向でも色々考えていきたいと思いました。ありがとうございます。

山田会長 はい、ありがとうございます。これについては、委員がおっしゃったように、少し順番変えるとか。それは必要だとは思いますが。少し長々と喋ってしまいましたが、他いなかでしょうか。

委員 この資料を見た時に、こども達が市役所の仕事として、自分たちにどういうことをやってくれているのかというのがもう少しこの1番、2番、3番、4番の中で例えを使ってやっていることがもう少し分かりやすい形で、たくさん羅列しなくてもみんなの生活の中のこういうことをやっているというのがもう少し分かりやすくなると伝わりやすいかなと。社会の授業でというのではないですが、自分たちの生活をどういう風に市役所が守ってくれているのかというのが分かりやすいとこどもに伝わりやすいのではと思うのと、困ったことがあったらというのを見て思ったのですが、知識としてあまり詳しくないので分からないですけど、インターネットで、土岐市で食事の提供してくれるところ、こども食堂を目にしたんですけど、こどもを助けてくれるところとか、何かあった時に民生児童委員とかそういう助けてもらえるところが、どこでやっているのかというのが私は全然分かりませんので、こどもにも何か情報があればどうかと思いました。

事務局 はい、ありがとうございます。ここで書いているのは大きく4つです。もちろんこども家庭センター、こちらに、何でも困ったことあったら相談してもらって、委員がおっしゃったような、こども食堂とかについてもご紹介させていただけると思いますし、民生委員はどちらかというと大人からのご相談が多いかと思いますが、もちろんそういったこともこども家庭センターで、母子も妊婦さんも含めて全てに対して、虐待についても特化して対応しております。もう何でも相談してくださいというようにやらせていただいております。あと、先ほどおっしゃっていただいたような、もっと具体的にどのような事業をやっているかにつきましては、先ほど会長もおつ

しゃったような感じで、これはこの計画としての概要版で、今後の周知の中で特化した内容、例えば児童虐待のこととか、会長さんが言われたように、Q & Aで例えばお父さんが叩いてくるけどどうしようとかっていう質問に対して、ここに相談しようみたいな、もう少し特化した形の資料を作って活用できたらいいなと思いました。ありがとうございます。

山田会長 いいですか。あとはどうでしょうか。はい、どうぞ。

委員 最後に困ったことや心配なことがあったらを見ていて、思ったことがあります。こども家庭課で相談できる時間は月曜から金曜の8時半から5時15分で、この時間にかかることは難しいのではないかなと思って。何か悩みがあった時に、こどもはこの時間学校に行っていると思いますし、本当に学校に行けなくなってから電話する感じになるのかなと思ったのと、土日祝日繋がりませんというのは少し突き放されているような感じがあります。対応する方の勤務がこの時間になっているからこの時間設定だとは思いますが、今のこども達は携帯を持っている子多いと思いますので、DMとかメッセージとか、いつでもSOSのメッセージとして市の方に発信できる場所というのがあればいいと思います。電話するのは多分すごく勇気がいることだと思いますので、悩みがあるこども達の思いを吐き出せる場所をプラットフォームとして作ってあげるのがいいのではないかなと思います。親に思ったことがあって、相談したいと思った時に、多分今の子育て世帯の家庭はこの時間は全員働いていると思いますので、連絡すらできないと思います。SOSをだせる場所をつくっていただけるといいのではと思いました。

事務局 ありがとうございます。今のお話は概要版の表記というよりは、こどもが困った時の市の相談体制の整備に対するご意見をいただいたと思っております。ここで体制について、土日でもできますというのはお答えできるものではないです。色々相談できる場所、例えば「189（いちはやく）」は24時間対応しておりますが、そういったことも複合的に考えながら、相談者さんが1番相談しやすい体制とは何がいいかなについては検討していきます。また、おっしゃっていただいたように、電話はなかなか勇気がいるのでというご意見もいただきました。概要版のここですというものは中々お答えできないですが、体制整備につきましては今後これとは別のところで検討していくことかと思いました。ご意見ありがとうございます。

山田会長 よかったでしょうか。はい、どうぞ。

委員 見せていただいて、土岐市ならではとか、土岐市らしさとか、土岐市だからこれがあるとか、そういうものがあまりないなと。土岐市で保育していていいなと思うのがすごく自然があるところで。今日も裏山にフライパンを持ってそり滑りに行きて。そうしたらこどもが雪の積もった森の中を見て、こんな綺麗な空を初めて見たって言ったのです。あと、土岐市はすごく公園が多くて、こども達が歩いてお散歩をして行ける場所がいくつもあって、きちんと草刈りをして丁寧に整備されていて、土岐市は公園がすごいというのが私の思いです。概要版の中で、危ないことを防ぐ工夫をしていきますというよりは、遊びやすい公園を作りますとか、もっとこども達が土岐市でよかったな、楽しいな、ここで住んでいきたいな、子育てしたいなと思うような表現があってもいいのかなと思いますし、多分住んでいると分からないかもしれま

せんが、外から見ると、土岐市は公園がどこ行っても綺麗で、公園が多くて自然が多くて裏山も入って遊べるし、綺麗に整備されているので、地図でいつも遊びに行ける公園がたくさんありますとか、自分の住んでいるところはそうなのだとこのことを感じられるものがあったらいいのかなと思います。

事務局 ありがとうございます。計画の概要版になりますので、今委員がおっしゃっていただいたようなそういったPRにつきましては土岐っこ子育てハンドブック、ここに公園の特集とかそういったものを載せてございます。これもまた随時改良していきたいと思っております。先ほど委員からもお話があったような、タブレットでこどもたちには配布しますのでQRコードから入れるだけとかですね。あと、これの電子版というようなこともこれから検討していきたいと思っております。計画のことについてはちょっとPRがなかなかというところでして。ただ、今おっしゃったように、危ないことを防ぐ工夫という言葉よりも、少し前向きな言葉をということはご意見として伺っておきます。ありがとうございます。

山田会長 よろしいですか。あと、どうでしょう。はい、どうぞ。

委員 確認させていただきたいのですが、この概要版はどういった形で配布するのでしょうか。

事務局 はい。こども版につきましては、今、小中学生のこども1人1台タブレット持っていますので、教育委員会さんと相談させてもらって、配信という形でタブレットの方に配信していきたいと思っております。紙ベースでもこども版を作りますので、こどもが来るような例えば児童館とかですね、そういったところにも設置できたらと思っております。一般の概要版につきましては、こちらは大人、保護者さんが見るものですので、それこそ保育園とかこども園、たけのこさんとかにもお願いして、でき次第保護者さんにお渡し願いますといった感じで配布させていただきたいと思っております。また、一般版は、支所や児童館など親御さんも一緒に来ますので、こども版と一緒に並列で置くなどして、施設においても皆さんに目に留まるようにしていこうと考えております。全戸配布までは印刷部数がありませんので、そういった形で対応していきたいと思っております。

委員 せっかくこういう素晴らしく抜粋してわかりやすく作っていただけているので、皆さん言われた通り、こども達が繰り返し目を通すことができるようになるといいのかなと。困った時にここ相談すればいいのだとか、こんなふうに僕らは守られているのだという気がつけるような機会を、出したらもうそれで終わりではなく、例えば我々のような園に対して、保護者に例えば定期的に周知してくださいとか、学校でも先生の方からぜひこれを使って話をしてくださいというのをなんとなく投げても、各学校でどうしようとなってしまいますので、こういう風にしてくださいみたいな感じでやり方を言っていただけると、我々もそれに沿って定期的に言うことで、この5年間保護者の目に触れるというようにした方が、せっかくですからすごくいいのではないかなと思ったのが1点。あと、この新しい計画に対しての基本目標というようになっていきますが、この中身だけ考えると、今できてないことをこの目標に入れてやっていくのか、もう既に取り組み始めていたり、充実していたりすることも中に含まれていますよね。これだけ見るとこれ今からやるのかなと。他市から来た人ですと何もやってな

いのか、これからなのか。5年間待たなければいけないのかみたいになってしまうので、今実施している取り組みが、例えばこれ、今やっている取り組みありますがこれをもっと充実させます、みたいなのが一目で分かって、さらにそれが例えば子育て当事者への支援というところであれば、今やっている活動はご覧くださいみたいにあると、困った時にこの概要版見れば、計画書を開かなくても概要版だけ見れば、最低限の情報を得られると嬉しいなと思いますし、家に持って帰っても5年間大事に目の届くところに保管してくださいみたいな感じで置いてもらえて、より活用されるのではないかと感じました。中々組み込むのは難しいかもしれませんが、できることがもしあればぜひお願いします。

事務局 はい、ありがとうございます。そうですね、おっしゃるように基本施策にこんな事業やっていますよと書けるといいなと思いますが、スペースの問題でどうなるかと。検討課題という感じになります。ありがとうございます。

山田会長 はい、ありがとうございます。今、委員もおっしゃったように、これが長く各家庭で保存されること。もらったらそのままどっかいてしまうものではなくて、そういうものにしていくために呼びかけとかも必要ではないかということを経験に言っていたいただきました。このことも含めて、各学校でも例えば1時間の授業の中の単元の中で1回使ってもらっただけでも、こどもがそれを聞いてその後が大事なんですね。こどもが家庭に帰ってから、お家の方に今日こんなことを勉強した、そんなことが分かったよと伝えるとこどもから広がっていくというルートもありますので、こういうこども版があるということはとてもいいことだと思います。せっかくなので計画を立てられましたので、それが活用されていく、長く使われていく、学校でも利用してもらえると風に進んでいくといいということだったと思います。じゃあ、これについてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。それでは次第の5、その他ということですが、最初に申しあげましたように、次第とか関係ないところ、関係ないところからでも結構ですので、それぞれのお立場とか関心のあるところで皆さんに一言、PRしたいとか交流したい、こんなことはやっている、できるよっていうこと、それぞれ結構でございますので、一言ずつお話を聞けるとありがたいと思います

委員 会議に参加させてもらって、土岐市がこどもを育てていく、こども達のために色々やってくれていることや、私達親のために子育てに寄り添ってくださっていることが、もっとたくさんの人に伝わって、他市から来られたお母さんとか、何か困ったりとかした時にどこに相談したらいいかわからないっていうお母さんたちがいらっしたりとか、土岐市にこういうことをお願いしたいなっていう時に、そういうパブリックコメントというのがあるのだ。それじゃあ自分の意見を取り入れてもらうところがあるのだっていうのが、もっとたくさんの人の目に触れて、自分たちは支えてもらっているってことがこども達の目に触れると、地域に育ててもらっているってことがこどもたちの中に芽生えると思います。私自身も土岐市で育て、子育てをするなら土岐市に帰ってきてほしいということで帰ってきましたので、こども達が大きくなった時に土岐市住みたいと思ってもらえるようになっていけばいいなと思います。ありがとうございました。

委員 ありがとうございます。今回参加させていただきまして、こんなにも土岐市がしっ

かりと考えてくださっているのだからってことが分かりました。私もそうでしたが、こうなったらいいなと思っているけれど、あまりならないだろうなと思っているところもあって。こども計画とかをお母さんや子育ての家庭にこんなにも考えてくれているということが周知されるとすごくいいのではと思いました。こんなことをやってくれるのだったら、ここで子育てしていく意味があるのかなということが分かる計画となっているので、私はすごく素敵なものだなと思いました。あと、ちょっと計画とは離れることにはなりますが、産後ケア事業ですかね。ホームページで見させていただいて、こども家庭課と書いてあったので聞きたいことがあります。産後ケアが受けられるお母さんの対象が、基本的に産後4ヶ月ということで、こどもを預けて少しお休みできるステイの対象が産後4ヶ月までですと対象が短くなってしまうのではと感じました。1年、最低でも半年ぐらいを対象にさせていただいた方がいいかと思います。もう4ヶ月過ぎてしまったので対象ではないのだと思ってしまうお母さんがいると思うので、少しだけでもその対象を延ばせるといいのかなと思いました。勘違いだったら申し訳ないです。以上です。ありがとうございました。

山田会長 今のお話に関わって、何か答えができればですが。ありますか。

事務局 今のお話でお答えさせていただきたいと思います。産後ケア事業としては、基本的には1歳未満の方を対象として利用していただくという制度になっております。土岐市としてもできるだけ1歳未満まで使っていただけるものですので使っていただきたいと思って事業を展開しているところです。今お話のあった4ヶ月につきましては、通所の施設と宿泊型の施設の2つの事業体制になっていますが、受け入れ側の施設さんからお子さんとお母さんを見るのにあたり、4ヶ月ぐらいになってしまうと寝返り等ができるようになるとスタッフ等の見守りの体制がしっかりと取れない。寝返りができるくらいになってしまうと、施設としては預かることが難しいというお話がありました。ですので、施設さんからこの時期までしか預かることができないということで、4ヶ月までという体制とさせていただいているのが現状です。ただ、ぜひ使っていただきたい事業ですので、対象となる方と色々相談させていただきながら、他にも産後ケアには訪問型の事業もございます。こちらですとご自宅に助産師が訪問させていただいて、ゆっくりと休んでいただいたりとか、お悩みを聞かせていただいたりとか、体調のケアについてもご相談していただけるものがございます。こちらは1歳までしっかりと使っていただけるものになりますので、そういったもので対応していきたいと思っております。以上です。

山田会長 どうでしょうか。

委員 ありがとうございます。よく分かりました。お母さんが1番必要なのが夜間の睡眠かなと思ったところで、なんで4ヶ月なのだろうというのを思っていたので、施設側の理由ということで、なるほどと思いました。産後から結構経っていますので、今どういう風になっているのか分からないですけれど、保健センター等でもうくどいくらいにこういうのがあるからということをお母さんに伝えてもらいたいと思いました。また、この情報を見つけるのも難しいと思いますのでこの会議を通じてのことになると思いますが、情報の発信というのはこれからも大事になってくると思いました。ありがとうございました。

山田会長 私の関わっている泉西公民館でも保健センターのような専門的なことではないですが、産後ケアと言いますか骨盤体操とかそういう講座を託児付でやっております。何か月前とか何歳までということは把握していませんが。お母さん同士の交流がうまれることがありますし、泉西児童館でも0歳児とかそういう子たちに向けた講座をやっている時に、来ていたお母さん同士が交流をして話ができるとか、色々な場面があると思います。そしてPRが、先ほどから話題になっていますけども、難しいですね。では、お願いします。

委員 昨年、奈良で保育の全国大会がありましたのでそれに参加してまいりました。そこで、人口減少社会で保育に期待される役割というところで講演を聞いてまいりました。こども園、保育園関係の方が見えますので、少しお話をさせていただきます。スウェーデンでは60人以下の定員がほとんどで、保育が実施されていることを聞いてびっくりしました。こどもの総数が減っていくわけですね、少子高齢化で。保育園、こども園も小規模化になっていくという。だんだん入所児童数が減って、園児が減って、少ないこどもを丁寧に育てる課題がこれからできてくるということで、こどもが減れば活発で時に大胆な感じの保育ができるとか、異年齢の保育が増えていくことで、縦、横、斜めの人間関係で育つ自然さが増えてくる。今まで幼児に見える形の保育が減少して、日常の保育が大事になってくる。小規模保育は悪くないってことを講演で述べていました。これから国が、誰でも通園制度が一般化してきますけども、現状は課題だらけですが、その理念は大事であるということ言われていました。温かく質の高い保育が寛容になってくるということで、それらの具体化を図っていく。また、施設もこども園、保育園等が高齢者施設と一体化して取りくんでいくことが大事になるのではないかとということ、地域総合型福祉の施設が成り立っていくのではないかとという話も聞いてまいりました。今では、こども園、保育園という園ですけど、これからはですね繋がりのあるご縁の縁が、繋がり絆ですね、そういうものが大事ではないかと思っています。これからは人口減少、それからご要望の人数が減っていくわけですけど、考えながら過ごさせていきたいと思っています。以上です。

委員 委員が言われた通り、少子化が進んでいる中でやはり1番大きい課題は多分どこの市町村も一緒だと思いますが、若者の流出、都会への流出で。先日、名古屋の民間保育園連盟の方たちと色々話していたのですが、そんな名古屋からも東京への流出が激しいというのが現実で、この辺の子たちも名古屋にも行くけれども、実は東海地方の若者も東京にも行っているんじゃないかなと。本来であれば、生まれ育ったこの街を起点に仕事を頑張ってもらい、ぜひこどもを産み育ててほしいというのは本当に切なる願いですが、今の若い方達に何が刺さって、どうやってここに魅力を感じて、ここで産み育てたいと思えるのかと、この話を我々この会議でしている最中なのだとことを改めて感じました。ですので、この会議を通じて若い方達にどのようなことを訴えていくのか、その子たちがいかにここに残って住みたいと思うような政策で、土岐市さん言われた通り、色々やっているっていうのをせっかくですのでもっとアピールしていいと思います。土岐市独自とか、土岐市が他よりもより力を入れているっていうところも強調しつつ、若い方達に訴え続けることも今後の課題、重要なところではないかとすごく感じました。今日はありがとうございました。

委員 自分の地元と比べてではないですが、泉西学区で保育をしていると思うのが、本当

に自然が多くて地域の方の団結力がすごいというか、団地の荒れた池の周りを整備して、里山遊歩道作ってまめに整備されていて。こども達が散歩に行った時に、たまたまおじさん達が草刈りして燃やしていて、焼き芋を焼いていたものをいただき、地域の温かさがあると感じました。あと、本当に公園が綺麗。しかも名古屋まで1本で行ける。それなのに空き地、空き家がたくさんある。土岐市の魅力が知られていないといつも思っています。土岐市ならではのもっといいところを、子育て世代にもっとアピールしてもいいのではと思いますし、自然が好きな人はいると思います。こどもたちが本当に伸び伸び育っているのも、そういうところをもう少し地元にいすぎて皆さんこれが当たり前だと思っているかもしれないですが、アピールしていただきたいなと思っています。

委員

こども計画の中では、社会福祉協議会が運営する児童館、児童センターを計画上の施設として位置付けられていますので、スローガン、計画に基づいた形で運営しつつ、パブリックコメントをいただいた児童館・児童センターは、来館しやすさはあるものという部分も、より多くの方に親しみを持っていただき、来やすさを感じていただきながら、こどもの数が減っているとはいいつつも、こども全員が来るわけではないですが、より多くのこども、保護者の方、先ほど会長さんにも言っていただきましたが、とても小さなお子さんを持っている親さんのサークルとかもありますので、そういったところでも仲間作りをしていただきながら、地域に根差した施設であり続けていきたい、そういった運営をしていきたいと思います。皆様にもご協力をお願いすることもあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

委員

貴重な会議に参加させていただきまして、ありがとうございました。土岐市さんが一生懸命子育てを助けていこうという気持ちでやってみえることが、本当に痛感できました。いい機会になりました。せっかくやってみえるので、例えば保育園なり、私たちの施設でもですが、質の向上については耳が痛いぐらい言われていますが、質の向上というのは数字で見えてこないところもありますので、その辺の成果みたいなものを今一度振り返る機会をいただければいいなと思っております。あと、繋がりということのを大事にしてやっていこうということですので、今こうして色々な方々が集まってくださっているこの会議で、1人のお子さんをみんなで見ていくのだよという繋がりについて、例えば社協さんであるとか学校さんであるとか、園であるとか、事業所間同士の連携というところも今一度考えながら進めていけたらと思っておりますので、よろしくお願いします。

委員

他の市から土岐市に引っ越してきて3年経ちますが、引っ越してきた頃は、前住んでいた市の子育て支援が手厚かったということを離れてから気がつきました。でも離れてしまったから、今いる場所で頑張ろうって思った時に、比べてしまうところが多くて。なんでこんなことと思うことがたくさんありましたが、会議に参加させていただいてこどものために色々な方々が計画してくれていることがすごく励みになるし、続けていってほしいと思うところもありますが、もう少しこうしてほしいなと思うことがたくさんありますので、そういう意見を市の方に分かってもらえると嬉しいなと思いました。あと、土岐市のこども達は交通安全の教育が行き届いているなと思いました。信号のない道路を渡った時に、中学生になっても振り返ってお辞儀してもらってことは、前いたところでは1回もやってもらったことがないですし、車も止

まってくれないし、渡ったら渡ったところですれすれで車が行くみたいなところでしたので、車が止まってくれることも素晴らしいし、ちゃんとおじきをする教育が、中学生や高校生になっても根付いているのはいいことだと思いますのでそういう所を伸ばして行ってほしいと思うのが、よそから来たものとしての意見です。児童館は今利用することがありませんが、フルタイムで働いているとこどもと触れ合う時間が少なくて。児童館に行っても小さなこどもが多いので、こどもが大きくなってからも親子で遊べる場所を増やしていただけると嬉しいと思います。また、公園も整理されていて素敵だなと思うところが多いので、そういうところも市でPRしていただいて、利用しやすい公園を教えてほしいです。他市から来ていると公園がどこにあるか分からなくて、横を通った時にこの公園は遊具がたくさんあると気がつくのです。そういう情報を教えてほしいと思いますがどこに聞いたらいいのかが分からないのですので、今後力を入れてほしいと思っています。

委員 土岐市こども計画の概要版を見せていただいた時に、とても分かりやすくて。こども版は小中学校ですけれども、大人版は保護者の方にも配っていただけるということでしたので、まず、私を含めた職員がこういうものがあるということを周知していくことが大事だと思います。例えば職員会とかで、こういう風な取り組みを土岐市がしていますということを、職員に周知するとともに、これを1回で終わらせるのではなく時々取り上げたり、また、保護者の方も配布させていただいた時や、参観日などが終わった後に、こういうもの配らせていただいたんですけどという紹介をさせてもらったりとか、小中学校につながる土台として、取り組んでいけるようにしていきたいと感じました。ありがとうございました。

委員 今回この会議に参加させていただいて、こども計画を作るにあたって、今までやってみえたこと、これからこうしていこうと思ってみえること、それらがたくさん詰まっているというのを自分でも勉強させていただきました。自分も子育てをしていたのかというのはちょっと置いておいても、土岐市でこういうこともやってみえたのだなと、先ほども話がありましたけれども、知らないこともたくさんあって、そういった意味では受け身であったならばおそらくそういう情報は得られないし、必要だから取りに行った時に、じゃあどのように取りに行けばいいのかというところでいくと、今はQRコードですぐにそこへ入っていける。その情報がすぐ取り出せるということもあって、このこども計画がこれからこのように使いやすいものになっていくといいなと思いました。今、学校では、つなぐというキーワードでいくと、ふるさと学習についてどの学校も実施しております。また、学校運営協議会というのが全ての学校に設置されておりまして、地域の方とこれから学校がどうするかを相談しているのですけれど、こども達が土岐市っていいよねと、自分の住んでいる地域は素敵な人たちに囲まれて、自然に囲まれていいところだよということを学ぶことをしてきています。また、こども計画をきちんとこども達にも周知していきながら、さらに、自分の住んでいる土岐市はとてもいいと思えるように、学校でも活用していきたいなと思っています。ありがとうございました。

山田会長 ありがとうございました。委員の皆さんも自分の関わっている団体や組織に広げていただくということが大事でないかなと思いました。それから、役職上変わられる場合はぜひ引き継ぎをしていただき、次の方が続いていけられるようにしていただける

とありがたいと思います。もう1つは、いつもくどいように言いますが、いい計画や事業があったとしても、やはり人、物、金、そしてPR、周知っていうのですかね、これであります。こんなこと言うと失礼かもしれませんが、傍聴されてみえる皆さん方はお分かりいただけると思いますが、力を合わせて予算を引っ張ってきてもらえるようにやっていただけるとありがたいなと思います。会議が終わった後の立ち話も大事なことでありますので、立ち話もやってみたいなと思いました。それでは最後に事務局からありましたら、お願いします。

事務局

事務連絡でございます。本日の会議が今年度4回目で最後の会議となります。ありがとうございました。今後ですが、本計画について先ほど少し申し上げましたように、県との協議を行っていくわけですが、今後その中で、誤字脱字の修正、表現・言い回し等々、計画の方向性を変えないような修正につきましては、こちらで修正させていただきたいと思いますので、ご承知おきください。策定の時期ですが、県との協議、大丈夫ですよという県から返答がきますが、5年前のスケジュール感を調べましたら、2月の同じ時期に協議をして、3月後半ぐらいに返答がきていますので、正式には3月後半ぐらいに計画策定という形になろうかなと考えております。3月中に策定して、4月からこども計画が始まるということになりますので、どうぞよろしくお願いいたします。次に、先ほど会長からも少し話がありましたが、委員の皆様におかれましては、委嘱期間は来年度、令和8年3月31日までということになっておりまして、来年度もご参加いただく方と、役職等で交代されて今回最後の方もあろうかと思います。また、こども計画策定にあたりましてご参加いただきました委員におかれましては、今回最後ということで、どうもありがとうございました。今年度は、例年より多く、4回会議を開催いたしました。お忙しい中、長期間皆様にはこども計画策定にあたりまして色々ご審議をいただき、誠にありがとうございました。来年度も引き続きやっていただける方、来年度の予定としましては、今年度は計画策定で4回実施しましたが、来年度、1回ないしは2回の開催の予定でございます。ただし、審議すべき内容があれば随時ご出席をお願いすることになるかと思っておりますので、来年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます

山田会長

はい、ありがとうございました。皆様のご協力により、議事次第はこれで全て終了いたしました。事務局へお返しします。

事務局

では、これを持ちまして第30回の子ども子育て会議を終了いたします。長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。